

1. 研究課題名:「テトラヒメナ組換体とクライオ電子顕微鏡法を用いた繊毛の構造解析」

2. 研究代表者名:

2-1. 日本側研究代表者: 東京大学 大学院総合文化研究科 教授 豊島 陽子

2-2. スイス側研究代表者: スイス連邦工科大学 チューリヒ校 生物学部
グループリーダー 石川 尚

3. 総合評価: (B)

4. 事後評価結果

(1)研究成果の評価について

繊毛の構造と機能を解明するために、日本側の発現系を用いた解析とスイス側のクライオ電顕トモグラフィによる解析技術を上手く組み合わせた相互補完的な研究内容と評価される。しかし、研究計画の遅延等があったため、当初の目標に沿った成果が十分に得られていないように思われる。研究目標についての予備的な検討が充分であったかどうか若干疑問が残る。双方の技術提供だけでなく、より緊密な連携による共同研究で、最先端の研究を目指すことが出来ればより良かった。

(2)交流成果の評価について

日本側では大学院生を含めた人的交流を積極的に進めており、スイス側が得意とする技術の習得に有用であったと思われる。この人的交流成果を生かして、今後のさらなる展開を期待したい。一方、スイス側からの若手の日本訪問が少なかったことは残念である。

(3)その他(研究体制、成果の発表、成果の展開等)

共著論文は複数発表されている。しかし、本プロジェクトが目指したものと異なる論文も含まれている様にも思われる。今後、綿密な計画のもとに組織化された日本—スイスの研究体制を生かし、研究成果が結実することを期待する。